



森下仁丹

株主の皆様へ

第85期 中間事業報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

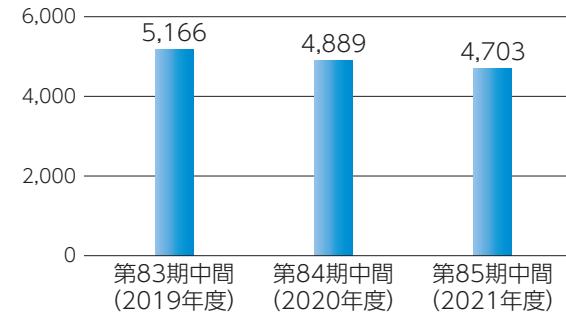
ここに当社グループの第85期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

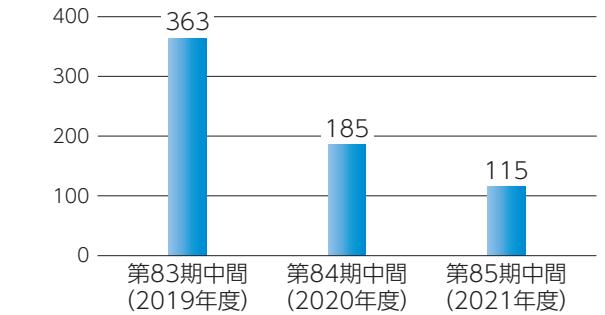
売上高

(単位：百万円)



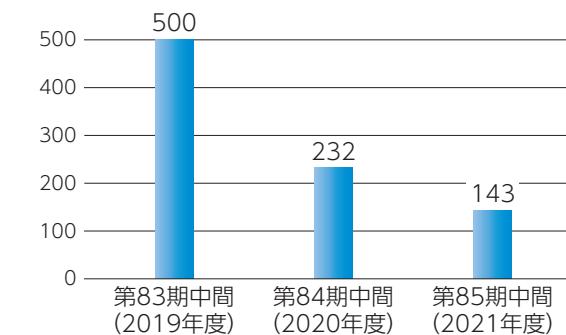
親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：百万円)



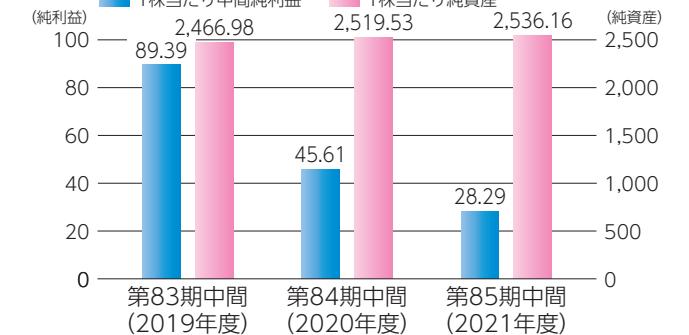
営業利益

(単位：百万円)



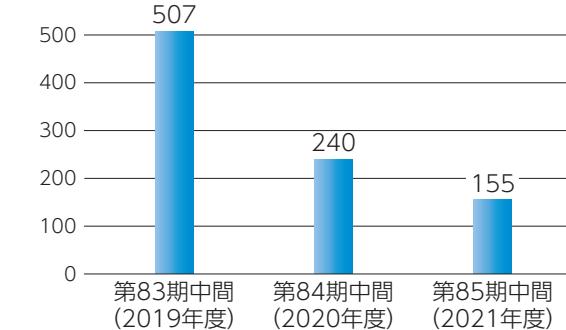
1株当たり中間純利益・純資産

(単位：円)



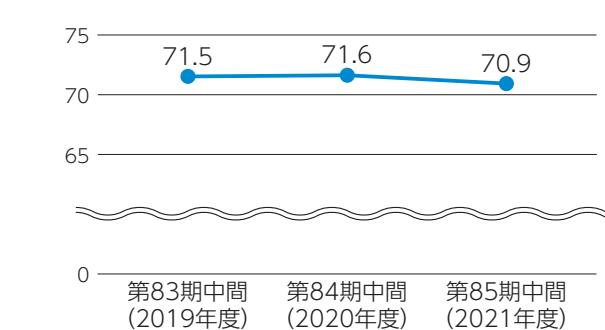
経常利益

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



01 事業の概況について

当中間連結会計期間におけるわが国経済の景気は停滞しております。企業収益は2020年度後半から急回復し、コロナ前の水準を上回っております。個人消費は、緊急事態宣言の発令に伴う営業時間短縮や外出自粛の影響で、対面型サービスを中心に弱い動きとなっております。消費者物価上昇率（生鮮食品を除く総合）は、原油価格上昇に伴うエネルギー価格の上昇を主因として13カ月ぶりにマイナス圏を脱しました。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響については、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当中間連結会計期間においては、「ビフィーナ®」や、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同中間期と比べ増収となりましたが、プロバイオカプセルの受託の販売が前年同中間期と比べ減収となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高4,703百万円（前年同中間期比3.8%減）、営業利益143百万円（前年同中間期比38.3%減）、経常利益155百万円（前年同中間期比35.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益115百万円（前年同中間期比37.9%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当中間連結会計期間の期首から適用しており、当中間連結会計期間の売上高は48百万円、売上原価は45百万円、販売費及び一般管理費は3百万円、売上総利益は3百万円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益に与える影響はありません。

ヘルスケア事業

「セルフメディケーション」の推進を目指して

創業者・森下博は「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。「健康とともに安心と安全をお届けする」この健康理念のもと、原料を厳選し、優良品を製造することを志とするその思いは今も受け継がれ、独自のカプセル技術とこだわりの品質の製品を、毎日健康で過ごしたいと願う全ての皆様にお届けしています。

当セグメントにおきましては、「ピフィーナ®」や、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同中間期と比べ増収となり、売上高は、3,617百万円と前年同中間期と比べ64百万円の増収となりました。
損益面では、積極的なプロモーション活動を行った一方、効率的な研究開発投資、固定費の圧縮に努めたことにより、セグメント利益は、159百万円と前年同中間期と比べ11百万円の増益となりました。

売上高

ヘルスケア事業
3,617
百万円

76.9%

カプセル受託事業

医薬品から食品、産業用まで進化し続けるシームレスカプセル技術

「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発が始まり、今では森下仁丹のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」。粉末、液体、微生物など様々なものを包むことができ、また、皮膜の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、食品、産業用まで様々な分野への展開が可能です。

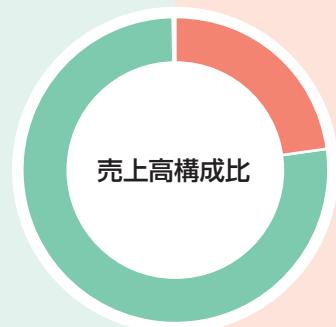
当セグメントにおきましては、プロバイオカプセルの受託の販売が前年同中間期と比べ減収となり、売上高は、1,084百万円と前年同中間期と比べ246百万円の減収となりました。
損益面では、効率的な研究開発投資、固定費の圧縮に努めましたが、セグメント損失は、16百万円と前年同中間期と比べ102百万円の減益となりました。

売上高

カプセル受託事業
1,084
百万円

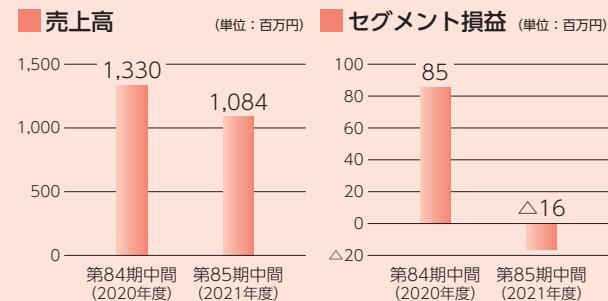
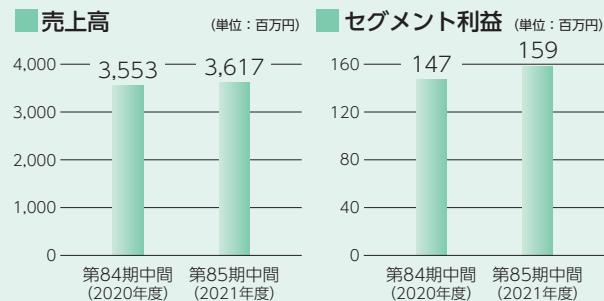
23.0%

売上高構成比



64百万円増
(前年同中間期比)

246百万円減
(前年同中間期比)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結 会計期間 (2021年9月30日現在)	前連結 会計年度 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,911	6,111
固定資産	8,669	8,335
有形固定資産	4,835	4,734
無形固定資産	472	389
投資その他の資産	3,361	3,211
資産合計	14,581	14,446
負債の部		
流動負債	2,226	2,074
固定負債	2,010	2,098
負債合計	4,236	4,173
純資産の部		
株主資本	9,049	9,079
その他の包括利益累計額	1,294	1,193
純資産合計	10,344	10,273
負債・純資産合計	14,581	14,446

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	4,703	4,889
売上原価	2,322	2,404
売上総利益	2,380	2,485
販売費及び一般管理費	2,237	2,252
営業利益	143	232
営業外収益	17	13
営業外費用	4	5
経常利益	155	240
税金等調整前中間純利益	155	241
法人税、住民税及び事業税	36	25
法人税等調整額	4	29
中間純利益	115	185
親会社株主に帰属する中間純利益	115	185

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	510	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 328	△ 127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 398	△ 356
現金及び現金同等物の増減額	△ 216	△ 384
現金及び現金同等物の期首残高	2,703	2,475
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,487	2,091

TOPICS

1

アカシア食物繊維とフラクトオリゴ糖が一緒に摂れる
顆粒タイプのサプリメント

Prebalance® 新発売

2021年10月1日よりドラッグストアなどで発売開始

当社は、アカシア食物繊維とフラクトオリゴ糖が一緒に摂れるサプリメント「プレバランス®」を、10月1日に新発売いたしました。「プレバランス®」に配合しているアカシア食物繊維は、水溶性食物繊維の一種で、胃や小腸で吸収されずに、大腸まで届いてビフィズ菌などの腸内細菌のエサになります。また、フラクトオリゴ糖は体内で糖として吸収されない糖質として話題の栄養素で、アカシア食物繊維と同じく腸内細菌のエサになります。水やコーヒーなどにさっと溶かして飲むだけで2つの素材を簡単に補うことができる顆粒タイプのサプリメントです。



【製品特長】

■何にでも溶けやすい顆粒タイプ

水やお茶のほか、朝のヨーグルト、ブレイクタイムのコーヒー、夕食のおみそ汁など、何にでもさっと混ぜるだけで溶けやすいので、とても手軽です。家族皆様が食物繊維を補いたい時には、ご飯を炊く時に混ぜるのがおすすめです。

■元の味をほとんど変えないから続けやすい

水やお茶など味の変化を感じやすい飲み物でも元の味をほとんど変えないので、普段の食事にもプラスしやすく、続けやすいです。

■天然由来の素材を使用

アカシア食物繊維はマメ科の植物の樹液を溶かしてそのまま乾燥させています。また、フラクトオリゴ糖はサトウキビを原料に酵素の力によってつくられた天然由来の素材です。

【製品概要】

製品名	プレバランス®
原材料名	フラクトオリゴ糖(国内製造)、アカシア食物繊維
内容量	7包/30包
お召し上がり方	健康保持のため、1日1~3包を目安に、1包当たり約180mLの水やお湯等に溶かしてお召し上がりください。
保存方法	直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。
注意事項	●妊娠中、授乳期の方はご使用をお控えください。 ●次の方はお召し上がりになる前に医師又は薬剤師に相談していただくか、当社までお問い合わせください。 ① 食品アレルギーのある方 ② 医師の治療を受けている方 ●本品の使用により発疹、嘔吐、アレルギーなど体に変調をきたした場合には、直ちに使用を中止してください。 ※個別包装開封後はなるべく早くお召し上がりください。 ※乳幼児の手の届かないところに保管してください。 ※本品は天然由来原料を使用しているため、顆粒の色が若干変わることがありますが、品質上問題ありません。 ※料理の水分量により、溶け残ることがやとろみがつくことがあります。製品の品質に問題はありません。 ※溶かした後はお早めにお召し上がりください。
価格	オープン
販売ルート	全国の薬局、ドラッグストアなど

TOPICS

2

高知県産黄金生姜の発酵粉末や和漢植物エキス、沖縄県産黒糖などを配合

体の芯から強烈な生姜の香りと辛さを楽しめる
「芯・から生姜飴」新発売

2021年8月23日より森下仁丹本店サイト等で販売開始

当社は、癖になる強烈な生姜の香りと辛さを楽しめる飴「芯・から生姜飴」を、8月23日に新発売いたしました。飴としては初めて、一般的な生姜よりも辛味成分が多く含まれている高知県産黄金生姜を発酵させた粉末を配合しています。強烈な香りと辛さを楽しめる「本格的な生姜飴」として、通信販売で発売中です。



「芯・から生姜飴」には、創業以来128年、和漢植物の研究に取り組んできた当社が厳選した高知県産黄金生姜を使用しています。高知県産黄金生姜は、一般的な生姜よりジンゲロール^(※1)が多く含まれることが特長です。さらに、この生姜を発酵させることで生まれるショウガオール^(※2)が含まれる粉末を配合し、生姜が持つ刺激的な香りと辛味をより体感できる飴に仕上げています。また、9種の和漢植物エキスや、桂皮エキス、ミネラル豊富な沖縄県産黒糖など、生姜だけでなく、皆様の体に配慮した素材を配合しています。

「芯・から生姜飴」は、歌手やアナウンサー、声優など沢山の「声のプロ」の方々にご愛用いただいている「鼻・のど甜茶飴」と同様にパンチの効いた強烈な味が特長です。刺激のある飴が好きな方や生姜好きな方に、また、飴をお湯に溶かして生姜湯にするのもおすすめです。

※1:生の生姜に多く含まれる辛味成分。

※2:生の生姜にほとんど含まれておらず、生の生姜を乾燥または加熱・発酵させることで生まれる辛味成分。ジンゲロールより刺激が強いと言われています。

【製品概要】

製品名	芯・から生姜飴
原材料名	水飴(国内製造)、砂糖、黒糖(沖縄県産)、生姜粉末(生姜(高知県産))、生姜汁(生姜(高知県産))、生姜発酵粉末(生姜(高知県産))、植物抽出エキス末、桂皮抽出物/香料
内容量	48g(個装紙込み)
お召し上がり方	そのままお召し上がりしても、数粒をお湯に溶かして芯からぽかぽか生姜湯としてもお楽しみいただけます。
保存方法	直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。
注意事項	●本品は吸湿しやすいので、開封後はチャックをしっかり閉めて保存し、なるべく早くお召し上がりください。 ●本品は乳成分、小麦、落花生、大豆、リンゴ、オレンジ、モモを含む製品と共通の設備で製造しています。 ●本品は天然由来の原料を使用しているため、飴の色にばらつきが生じることがありますが、品質上問題ありません。
価格	500円(税込)
販売ルート	通信販売

役員

代表取締役社長	森下雄司
取締役(社外取締役)	杉浦一哉
取締役(社外取締役)	末川久幸
取締役(常勤監査等委員)	光永健治
取締役(社外取締役)(監査等委員)	石原真弓

取締役(社外取締役)(監査等委員)	石黒訓
常務執行役員	笹野恭行
執行役員	石田英嗣
執行役員	地主紀之
執行役員	吉田秀章

ネットワーク

Network

商号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.

資本金 35億3,740万円

事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、化粧品、食品及び雑貨等の製造販売

事業所及び工場

本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話 (072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話 (0749) 48-7370
長浜工場	滋賀県長浜市小野寺町字下寺70番7	電話 (0749) 74-8500
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話 (03) 6206-8138

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日
(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<https://www.jintan.co.jp/ir/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。

是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp>



▲ トップページ

